

2023年3月期
通期

決算補足説明資料

2023年5月15日

連結業績推移 – 通期累計

23.3期 通期累計業績

新型コロナウイルス感染症による特需効果の反動、仕入原価高騰等により減収減益

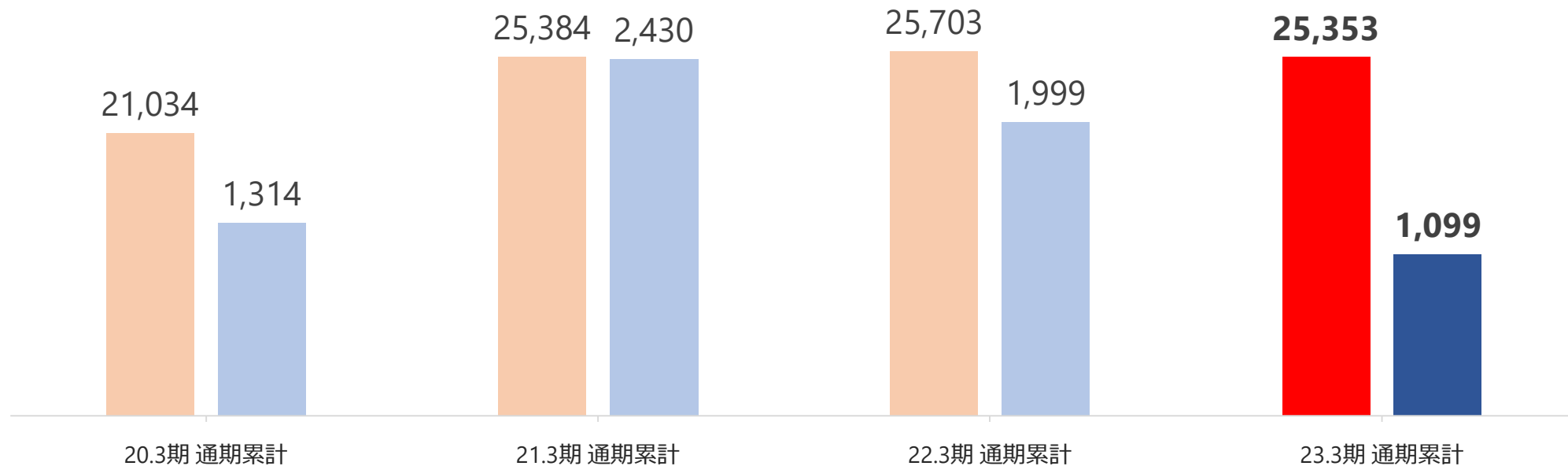
<売上高> 前年同期比 Δ 349 百万円、増減率 Δ 1.4 %

- ・新型コロナウイルス感染拡大前に比べ堅調に推移しているものの、緊急事態宣言の解除に伴う特需効果がなくなったことにより減収となる。

<経常利益> 前年同期比 Δ 900 百万円、増減率 Δ 45.0 %

- ・資源価格の上昇や円安による仕入原価の高騰、および積極的な出店戦略によって販売管理費が増加したことにより減益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



連結業績推移 – 第4四半期

23.3期 4Q業績

価格改定により、店舗原価率が低下したことで、食材販売が減少するが、店舗収益力の改善により、**経常利益は増益**

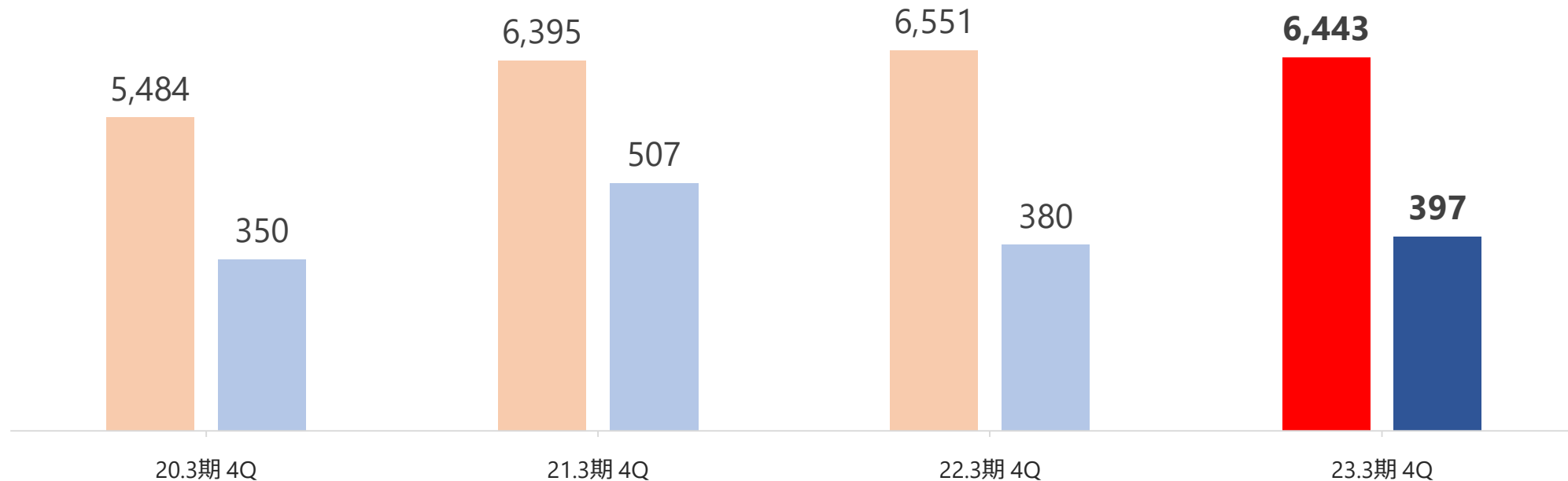
<売上高> 前期比 Δ 107 百万円、増減率 Δ 1.6 %

- ・新型コロナウイルス感染対策の規制緩和による反動があるものの、直営店舗数の増加によって直営売上高は増収となるが、FCへの食材販売が減少したことで減収となる。

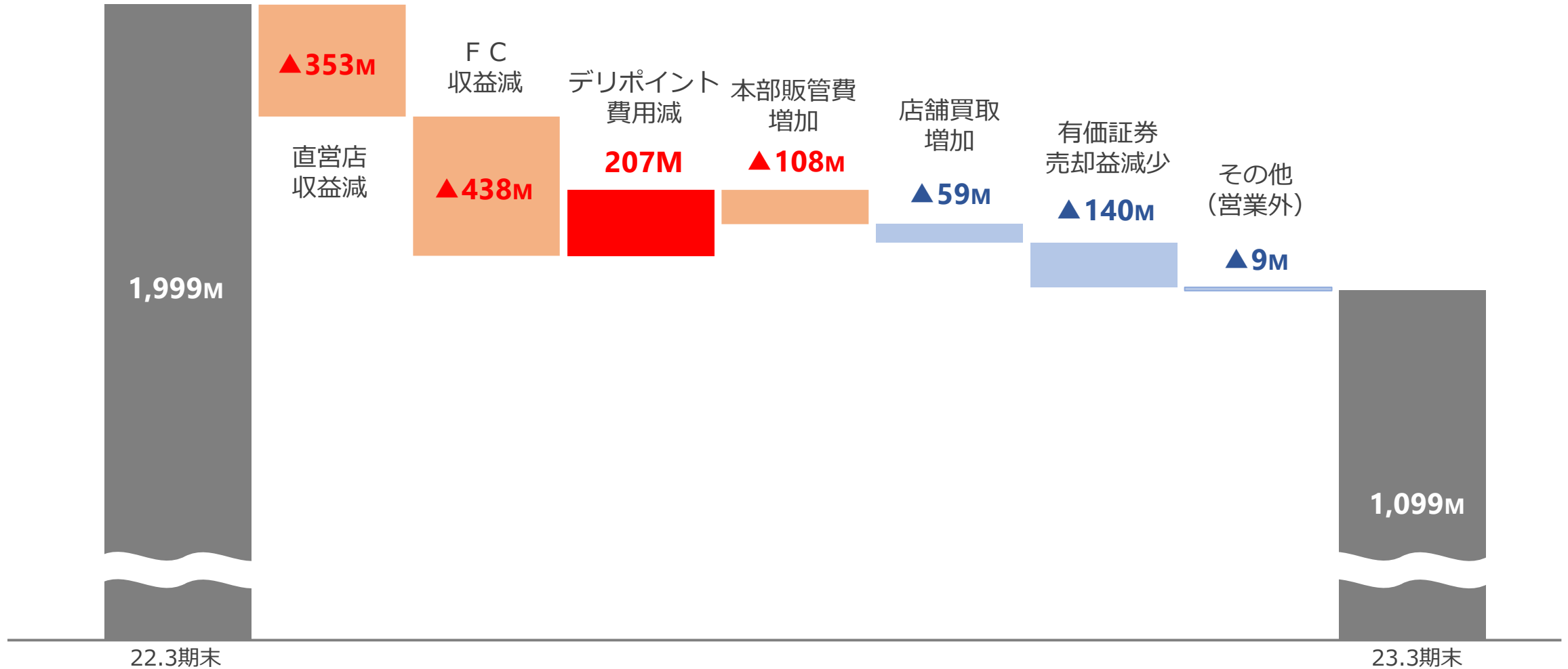
<経常利益> 前期比 +17 百万円、増減率 +4.5 %

- ・営業外で店舗買取損や投資損失引当金を計上しているものの、価格改定により収益力を改善したことで増益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



経常利益の前期比増減の構成 通期



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	22.3期末 店舗数	出店	閉店	23.3期末 店舗数
宅配事業	銀のさら	373	11	△2	382
	釜寅	220	10	△3	227
	すし上等!	147	5	△4	148
	DEKITATE	1	—	—	1
宅配代行業業	ファインダイン	17	—	—	17
その他	和食レストラン	2	—	—	2
合計		760	26	△9	777

	22.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	23.3期末 拠点数
直営店	107	4	—	4	115
FC店	271	7	△2	△4	272
合計	378	11	△2	0	387

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	22.3期末	23.3期末	前期比	ポイント
流動資産	7,313	9,600	+2,287	資産 +2,095百万円
(うち現預金)	4,003	7,142	+3,139	----- 【流動資産】 + 2,287百万円 ・ 現金及び預金 + 3,139百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 + 359百万円 ・ 有価証券 △ 1,000百万円
有形固定資産	1,140	1,017	△123	
無形固定資産	473	379	△93	【固定資産】 △ 191百万円 ・ 無形固定資産 △ 93百万円 ・ 建物及び構築物 △ 67百万円 ・ 工具、器具及び備品 △ 58百万円 ・ 投資損失引当金 + 75百万円 ・ 繰延税金資産 + 92百万円
投資その他資産	2,516	2,542	+ 25	
資産合計	11,444	13,539	+2,095	
流動負債	3,554	3,594	+ 40	負債 +2,319百万円
(うち1年内有利子負債)	389	616	+ 227	----- 【流動負債】 + 40百万円 ・ 1年内返済予定の 長期借入金 + 227百万円 ・ ポイント引当金 + 181百万円 ・ 契約負債 △ 259百万円 ・ 未払金 △ 130百万円
固定負債	533	2,813	+ 2,279	
(うち1年超有利子負債)	2	2,263	+ 2,260	
負債合計	4,087	6,407	+ 2,319	【固定負債】 + 2,279百万円 ・ 長期借入金 + 2,260百万円
株主資本	7,249	7,015	△234	純資産 △224百万円
純資産合計	7,356	7,131	△224	----- 【株主資本】 △ 234百万円 ・ 自己株式取得 △ 500百万円 ・ 配当金 △ 303百万円 ・ 当期純利益 + 546百万円
負債・純資産合計	11,444	13,539	+ 2,095	

通期業績予想 – 連結

売上高237億円（前期比△6.5%）、経常利益6.1億円（前期比△44.5%）

- 新型コロナウイルス感染対策の規制解除による反動、現在の仕入環境の影響、当社グループの収益力強化及び運営効率化のための投資を見込んでの算定。

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

(単位：百万円)	23.3期 2Q 実績(連結)	24.3期 2Q 予想(連結)	前期比	23.3期 通期 実績(連結)	24.3期 通期 予想(連結)	前期比
	下段： 売上構成比%	売上構成比%	増減率%	売上構成比%	売上構成比%	増減率%
売上高	12,119	10,998	△1,121	25,353	23,700	△1,653
	–	–	△9.3%	–	–	△6.5%
営業利益	469	25	△444	1,251	623	△627
	3.9%	0.2%	△94.6%	4.9%	2.6%	△50.2%
経常利益	409	18	△390	1,099	610	△488
	3.4%	0.2%	△95.4%	4.3%	2.6%	△44.5%
当期純利益	267	7	△259	546	369	△177
	2.2%	0.1%	△97.1%	2.2%	1.6%	△32.4%
1株当たり当期純利益	27.01円	0.79円	△26.22円	55.64円	37.91円	△17.73円

取り組み：大好評の「サーモン」「エビ」のキャンペーンを実施

2023年3月に、宅配寿司「銀のさら」において「サーモン」「エビ」のキャンペーンを実施しました。

サーモンは希少な品種、王の名にふさわしい最上級の「キングサーモン」、上品でとろけるような口当たりが特徴の逸品です。

エビはぷりっと弾ける食感と旨味で肉厚の「大生エビ」、ポン酢ジュレでいただく「炙り大エビ」も自慢の一品です。



取り組み：「海への恩返し」プロジェクト第5弾 『つばき鯛』

宅配寿司「銀のさら」では、「椿の葉」を餌に配合して育てた五島列島の『つばき鯛』を数量限定で販売しました。

この取組みは、水産資源保護を目的としたプロジェクト「海への恩返し」第5弾となります。

「銀のさら」ではこれからも食卓へ笑顔を届ける宅配寿司サービスとして、日本の食を支える漁師や生産者と消費者を繋ぐ架け橋になるべく、様々な取り組みを行っていきます。



椿（つばき）1人前

取り組み：大人気ゲーム「龍が如く 維新！ 極」と「釜寅」がコラボ

宅配御膳「釜寅」では、「龍が如く 維新！ 極」とのコラボレーションを記念して、人気の『厚切り牛タン釜飯』を復活しました。

仔牛を使った厚切り牛タンは成牛の牛タンに比べ、しっかりとした柔らかな肉質をもち、癖が少なくまろやかな旨味と甘味が感じられる、希少な逸品です。



取り組み：AIが盛り付けた寿司桶を採点！ 「mibae」アプリを開発

宅配寿司「銀のさら」において、社内教育ツールとして、盛り付けた寿司桶の見栄えをAIが評価し、採点するアプリ「mibae」を開発しました。

これからも食卓へ笑顔を届ける宅配寿司サービスとして、「mibae」によってベースアップされた商品クオリティを軸に、商品力のさらなる向上を目指します。



プライム市場上場維持基準への適合状況

当社は、基準日（2023年3月31日）時点において、プライム市場における上場維持基準を満たさない状況となりました。

当社のプライム市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりであり、「流通株式時価総額」については基準に適合しておりません。

「上場維持基準への適合に向けた計画」を2023年6月末までに公表することを計画しております。

基準	上場維持基準	当社の状況 (基準日時点)	適合状況
株主数	800人以上	23,422人	○
流通株式数	20,000単位以上	59,835単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	66億円	×
流通株式比率	35%以上	55.0%	○



RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS